

相談員 杉澤 琴美

春の足音がもうすぐそこまで聞こえてきましたね。今号では、定番行事と初挑戦で彩った2月の活動をご紹介します！

あうんの鬼追い祭り



あうんの節分といえば、手作りかんぴょうを使った恵方巻と、全身真っ赤な荒々しい鬼！！

まずは恵方巻のご紹介。本当ならかんぴょうたっぷりの海苔巻きにしたかったのですが、今年は夕顔が小さくてかんぴょうもほんの少ししか取れず、ぎりぎりの量。ちょっと寂しいですが、他の具で彩りよく豪華に！

女性利用者さんに参加していただいて巻きました。「もう何年もやったことないよ」と謙遜する方には、「昔取った杵柄を見せていただきたいんです！！」と発破をかけて、手指に力が入りにくくなっていて昔のようにはできなくても、体がしっかり覚えていることは見ているとよくわかります。

にゅうめんとお浸しを添えた昼食。皆さんとっても海苔巻きがお好きで、普段少食の方も酢飯の魔法にかけられてたくさん召し上がりました。

そして午後には、豆まきの時間。去年は利用者さん皆さんが優しくてなかなか豆を投げてくれなかったのが、今年はリハーサルを念入りに。「鬼は外！！！」

落花生をお配りして待ち構えていると、2階からドスンと階段を降りてくる足音…あいつがやってきた！！

リハーサルして覚悟を決めていたのに、なかなか利用者さんたち豆を投げてくれません。こんなに荒々しい鬼を目の前にしても、やはり優しさの方が勝るのです。鬼の心の叫びがひしひしと伝わってきます。「豆を投げてくれー！！」

かくしてあうんに平和が戻りました。追い出した鬼も戻って来て和やかにティータイムしています。しかし、何か足りない…？あうんには福の神がないのです。福を招き入れずに節分と言えるのでしょうか！？

来年の節分には福の神をキャストに加え、更なる発展をした豆まきを開催します！！



バレンタインデー



14日はバレンタインデーということで、手作りスイーツに挑戦しました。たこ焼き器を使って、「フォンダンショコラ風」と「チーズハットグ風」の2種類のまん丸お菓子を作ります。目の前で焼いて作る過程を楽しみつつ、焼き立てを味わっていただきます。

チョコ味は一口かじると中からチョコがとろりと流れてくる仕組み。とっても柔らかくて美味しい一方で、チョコとバターがたっぷりなのに食べる時はそこまでの甘さを感じさせない恐ろしさがあります。

チーズ味はさけるチーズがびろーんと伸びてくる仕組み。皆さんなかなか理想通りに伸びてこなかったのですが、中には見事な伸ばしっぷりを見せてくれる方もいて、世界新記録を樹立していました。

あうんでのバレンタインスイーツは意外にも初めてのことでした。この日の男性利用者さんに「いいバレンタインでしたか？」とちょっと押し付けがましく伺ってみると、みなさん「良かったよ」と。喜んでいただけ良かったです！！



これはずいぶん前に、ある利用者さんがしてくださったエピソード。その方は、現在と過去、現実と空想が入り組んだ世界で生きている方で、かつて道路工事のお仕事に従事していたときのお話です。

「仕事をしていたら大きな虹を見つけてね、虹のふもとが田んぼから伸びているのが見えた!! 私はスコップを投げ捨てて夢中で走ってね、虹の端っこを見たら田んぼの水たまりから虹が生まれているのが間近に見えて、それは本当に美しくて!! 夢のような出来事だったの♪」

これはもちろん、現実を起こったことではないでしょう。ですが映画のワンシーンのようで、この方の息づかいや高揚感までありありと伝わってくるようで、すっかりこの世界観に引き込まれました。空想や思い込みが錯誤してしまうことは望ましいことではないけれど、このように生涯忘れることがない出来事に会えることもあるのですね。

これは利用者さんから直接聞かなければ触れることができない大切な思い出。我々スタッフは利用者さんの輪の中に座り、利用者さんの心の中にある大切な思い出をちょっとずつおすそ分けしていただいています。